

- 27) 古里美幸, 石井一裕, 中村早紀, 小原彰浩, 中村菜々子, 東 愛子, 森めぐみ, 高波悠華, 林田拓也, 芳澤真由美, 石井進子, 八木 稔, 齋藤 功: 矯正歯科石井クリニックにおける患者満足度調査—歯並び vs 口元—. 第 28 回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟市, 2013. 5. 26, 抄録集: 27 頁, 2013.
- 28) 中川麻里, 泉 直也, 小林正治, 齋藤 功: 前歯部反対咬合を伴うアングル III 級上下顎前突症例. 第 28 回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟市, 2013. 5. 26, 抄録集: 32 頁, 2013.
- 29) 吉田留巳, 渡邊直子, 齋藤 功: 叢生を伴うアングル I 級上下顎前突症例. 第 28 回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟市, 2013. 5. 26, 抄録集: 33 頁, 2013.
- 30) 小栗由充, 齋藤 功: 叢生を伴うアングル II 級上顎前突症. 第 28 回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2013. 5. 26, 抄録集: 34 頁, 2013.
- 31) 工藤和子, 朝日藤寿一, 齋藤 功: 下顎枝矢状分割術に下顎前方歯槽部骨切り術を併用して治療したアングル III 級骨格性下顎前突症. 第 28 回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟市, 2013. 5. 26, 抄録集: 35 頁, 2013.
- 32) 永井嘉洋, 八巻正樹, 齋藤 功: Angle II 級 subdivision 叢生症例. 第 28 回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟市, 2013. 5. 26, 抄録集: 37 頁, 2013.
- 33) 小原彰浩: 下顎左側中切歯先天性欠如により下顎前歯部に空隙を伴うアングル II 級 subdivision 不正咬合. 第 28 回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟市, 2013. 5. 26, 抄録集: 36 頁, 2013.
- 34) Ahsan SM, Masaki Y, Hossain Z, Saito I: Craniofacial cephalometric analysis of Bangladeshi and Japanese adults with normal occlusion and balanced faces, a comparative study. 平成 25 年度第 46 回新潟歯学会総会, 新潟市, 2013. 4. 20, 抄録集: 12 頁, 2013.
- 35) Valverde YM, Yoshikawa H, Saito I, Maeda T, Seo K: Possible role of BDNF during nerve regeneration after inferior alveolar nerve injury. 平成 25 年度第 46 回新潟歯学会総会, 新潟市, 2013. 4. 20, 抄録集: 12 頁, 2013.

#### 【研究会発表】

- 1) 竹山雅規, 八巻正樹, 丹原 惇, 坂上 馨, 大森裕子, 西野和臣, 小林正治, 齋藤 功: 矯正歯科治療による前歯の後方移動前後における咽頭気道形態の変化について. 第 10 回新潟睡眠呼吸障害研究会, 新潟, 2013 年 11 月 16 日

#### 【受賞】

- 1) 大竹正紀, 黒瀬雅之, 齋藤 功, 山田好秋, 山村 健

介: 中咽頭への味刺激が電気刺激由来の嚥下反射誘発に及ぼす影響. 第 24 回日本咀嚼学会 優秀ポスター賞, 2013 年 10 月 6 日

#### 【その他】

- 1) 齋藤 功: 「医の手帳」連載, 歯並び・かみ合わせ ①～④. 朝日新聞, 2014. 3. 8-29.

### 摂食嚥下リハビリテーション学分野

#### 【著書】

- 1) 井上 誠: 吸綴. 基礎歯科生理学第 6 版 (山田好秋編集), 350-354, 医歯薬出版, 2014.
- 2) 伊藤加代子, 松木貴彦: 歯科口腔領域. 女性医学ガイドブック, 金原出版, 東京, 印刷中, 2014.

#### 【論文】

- 1) Yokoyama S, Hori K, Tamine K, Fujiwara S, Inoue M, Maeda Y, Funami T, Ishihara S, Ono T: Tongue pressure modulation for initial gel consistency in a differential strategy. *PLoS One* 9(3):e91920, 2014.
- 2) Kakudate N, Muramatsu T, Endoh M, Satomura K, Koseki T, Sato Y, Ito K, Ogasawara T, Nakamura S, Kishimoto E, Kashiwazaki H, Yamashita Y, Uchiyama K, Nishihara T, Kiyohara Y, Kakinoki Y: Factors associated with dry mouth in dependent Japanese elderly. *Gerodontology* 31(1):11-18, 2014.
- 3) Moritaka H, Kitade M, Sawamura S, Takihara T, Awano I, Ono T, Tamine K, Hori K: Effect of carbon dioxide in carbonated drinks on linguopalatal swallowing pressure. *Chem Senses* 39(2):133-142, 2014.
- 4) Fujiu-Kurachi M, Fujiwara S, Tamine K, Kondo J, Minagi Y, Maeda Y, Hori K, Ono T: Tongue pressure generation during tongue-hold swallows in young healthy adults measured with different tongue positions. *Dysphagia* 29(1):17-24, 2014.
- 5) Yamamoto S, Taniguchi H, Hayashi H, Hori K, Tsujimura T, Nakamura Y, Sato H, Inoue M: How do tablet properties influence swallowing behaviors? *J Pharm Pharmacol* 66(1):32-39, 2014.
- 6) Fukuoka T, Ono T, Hori K, Tamine K, Nozaki S, Shimada K, Yamamoto N, Fukuda Y, Domen K: Effect of the effortful swallow and the Mendelsohn maneuver on tongue pressure production against the hard palate. *Dysphagia* 28(4):539-547, 2013.
- 7) Hori K, Taniguchi H, Hayashi H, Magara J, Minagi Y, Li Q, Ono T, Inoue M: Role of tongue pressure production in oropharyngeal swallow biomechanics. *Physiol Rep*

- 1(6):e00167, 2013.
- 8) Hori K, Miyamoto T, Ono T, Yamamoto M, Shiroshita N, Maeda Y, Inoue M: One step polymerizing technique for fabricating a hollow obturator. *J Prosthodont Res* 57(4):294-297, 2013.
  - 9) Hayashi H, Hori K, Taniguchi H, Nakamura Y, Tsujimura T, Ono T, Inoue M: Biomechanics of human tongue movement during bolus compression and swallowing. *J Oral Sci* 55(3):191-198, 2013.
  - 10) Ding P, Campbell-Malone R, Holman SD, Lukasik SL, Fukuhara T, Gierbolini-Norat EM, Thexton AJ, German RZ: Unilateral superior laryngeal nerve lesion in an animal model of Dysphagia and its effect on sucking and swallowing. *Dysphagia* 28(3):404-412, 2013.
  - 11) Li Q, Hori K, Minagi Y, Ono T, Chen YJ, Kondo J, Fujiwara S, Tamine K, Hayashi H, Inoue M: Maeda Y. Development of a system to monitor laryngeal movement during swallowing using a bend sensor. *PLoS One* 8(8):e70850, 2013.
  - 12) Tsujimura T, Udemgba C, Inoue M, Canning BJ: Laryngeal and tracheal afferent nerve stimulation evokes swallowing in anaesthetized guinea-pigs, *J Physiol* 15:591(Pt 18):4667-4679, 2013.
  - 13) Hori K, Srinivasan M, Barbezat C, Tamine K, Ono T, Müller F: Effect of lingual plates on generating intra-oral pressure during swallowing: an experimental study in healthy subjects. *J Neuroeng Rehabil* 10(1):64, 2013.
  - 14) Nakamura Y, Hatakeyama A, Kitada Y, Tsujimura T, Taniguchi H, Inoue M: Effects of pharyngeal water stimulation on swallowing behaviors in healthy humans. *Exp Brain Res* 230(2):197-205, 2013
  - 15) Matsuki T, Ito K, Funayama S, Yoshihara A, Masumi S: Questionnaire survey on oral symptoms of menopausal women and cooperation between doctors and dentists. *Int J Oral-Med Sci* 12(1) : 21-28, 2013.
  - 16) Naito M, Ito K, Funayama S, Inoue M: The Influence of subjective oral dryness and salivary volume on polydipsia in patients with schizophrenia, *Int J Oral-Med Sci* 12(1) : 29-34, 2013.
  - 17) Katsura K, Ito K, Nohno K, Funayama S, Saito M, Hayashi T: The relationship between the salivation ability and the blood flow velocity in the submandibular gland using pulsed Doppler ultrasonography. *Oral Radiol* 29 : 13-18, 2013.
  - 18) 伊藤加代子, 堀 一浩, 谷口裕重, 辻村恭憲, 真柄仁, 井上 誠: 訪問歯科診療および訪問歯科診療見学実習に対する学生の意識調査, *日歯医教会誌* 印刷中 2014.
  - 19) 中村由紀, 真柄 仁, 辻村恭憲, 谷口裕重, 堀 一浩, 井上 誠: 口腔への味溶液刺激がもたらす随意性嚥下への効果. *日顎口腔機能会誌* 印刷中, 2014.
  - 20) 真柄 仁, 林 宏和, 神田知佳, 堀 一浩, 谷口裕重, 小野和宏, 井上 誠: 嚥下時における舌骨の運動様相と食塊移送の検討. *日顎口腔機能会誌* 20 : 22-32, 2014.
  - 21) 堀 一浩: 舌接触補助床を利用した嚥下機能回復, *顎顔面補綴* 36(2) : 70-74, 2013.
  - 22) 中山富子, 伊藤加代子, 井上 誠: 介護老人施設に入所している高齢者の摂食・嚥下機能にかかわる状況と施設の対応. *新潟歯会誌* 43(2) : 119-127, 2013.
  - 23) 高松 潔, 伊藤加代子, 小川真理子, 濃野 要, 山田亜紀, 船山さおり: 日本人閉経後女性における陸症状の現状-Web アンケートの解析から-. *日女性医学会誌* 21(1) : 36-41, 2013.
  - 24) 岸本奈月, ステガロコ・ロクサーナ, 柴田佐都子, 伊藤加代子, 大内章嗣: 経口摂取が口腔内水分量と唾液および舌苔中の微生物量に与える影響-嚥下障害を併発するシェーグレン症候群患者に嚥下直接訓練を実施した一症例-. *日歯衛士学会誌* 8(1) : 63-69, 2013.
  - 25) 梶井友佳, 別府 茂, 秋元幸平, 山野井澄江, 井口寛子, 井上 誠, 山田好秋: 食の支援ステーションにおける実態調査. *日摂食嚥下リハ会誌* 17(2) 153-163. 2013.
  - 26) 井上 誠: 【摂食・嚥下障害患者への対応】 摂食・嚥下障害患者への対応を考える前に必要な知識の整理 摂食嚥下の生理学を中心に. *日補綴歯会誌* 5(3)254-264, 2013.
  - 27) 小野高裕, 堀 一浩, 藤原茂弘, 皆木祥伴: 【摂食・嚥下障害患者への対応】 摂食・嚥下障害患者への対応 舌圧測定と舌接触補助床, *日補綴歯会誌* 5(3) : 247-253, 2013.
  - 28) 伊藤加代子, 船山さおり, 濃野 要, 山田亜紀, 金子昇, 勝良剛詞, 佐々木綾子, 井上 誠: 「ドライマウス手帳」の作成とその改善点に関する調査, *口腔衛会誌* 63(4) : 337-343, 2013.
  - 29) 堀 一浩, 真柄 仁, 谷口裕重, 井上 誠: 補綴装置を用いた摂食・嚥下リハビリテーションが奏功した重症筋無力症症例. *顎顔面補綴* 36(1) : 54-60, 2013.
  - 30) 伊藤加代子, 高松 潔, 濃野 要, 山田亜紀, 船山さおり, 小川真里子, 井上 誠: 女性におけるドライシンドロームの有訴率に関する Web 調査, *日女性医学会誌* 20(3) : 399-405, 2013.

## 【商業誌】

- 1) 井上 誠：摂食・嚥下障害のサポート—食の支援ステーションの紹介—, プロジェクトバイオ, 生物工学会誌 印刷中, 2014.
- 2) 井上 誠：帰ってきた！ Dr. イノウエの咀嚼を科学する！ (1)～(3) . デンタルハイジーン 34 巻 1-3 号, 2014.
- 3) 井上 誠：高齢者の咀嚼機能-高齢者と加齢の問題整理-. 医と食 5(5):290-292, 2013.
- 4) 谷口裕重：高齢者の嚥下障害. 静脈経腸栄養 28(5):45-50, 2013.
- 5) 伊藤加代子：口腔乾燥症治療の新しいツール～ドライマウス手帳の作成～. 歯界展望 122(1):189, 2013.

## 【研究費獲得】

- 1) 井上 誠 (研究代表者)：摂食・嚥下機能に関わる中枢と末梢の制御機構. 平成 25 年文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (B), 課題番号 24390431B, 2013.
- 2) 井上 誠 (研究代表者)：ヒト嚥下反射誘発および高次機能評価システムの構築. 平成 25 年度文部科学省科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究, 課題番号 25670814, 2013.
- 3) 井上 誠 (研究分担者)：非侵襲型の嚥下誘発支援装置開発に向けた基礎的研究. 平成 25 年度文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C), 課題番号 24592793, 2013.
- 4) 井上 誠 (研究分担者)：ピエゾセンサーを用いた X 線非使用下嚥下検査の応用. 平成 25 年度文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C), 課題番号 24500574, 2013.
- 5) 井上 誠 (研究代表者)：クロトグラフの波形を利用した嚥下機能の新たな評価ツールの開発. 平成 25 年度 JST 研究成果最適展開支援プログラム探索タイプ, 2013.
- 6) 井上 誠 (研究代表者)：地域に根差した要介護高齢者の摂食・嚥下障害サポート体制の構築. 第 44 回 (平成 25 年度) 三菱財団社会福祉事業・研究助成, 2013.
- 7) 井上 誠 (研究代表者), 佐々木啓一 (研究分担者), 小野高裕 (研究分担者), 皆木省吾 (研究分担者), 増田裕次 (研究分担者), 津賀一弘 (研究分担者), 堀 一浩 (研究分担者)：摂食・嚥下障害患者における経口摂取と口腔内環境の関係. 平成 25 年度日本歯科医学会プロジェクト研究費, 2013.
- 8) 井上 誠 (主担当研究者)：複合的アプローチによる摂食機能解明を目指した国際共同研究拠点の構

築, 平成 25 年度日本学術振興会 頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム.

- 9) 井上 誠 (研究代表者), 大内章嗣 (研究分担者), 伊藤加代子 (研究分担者), 真柄 仁 (研究分担者)：摂食・嚥下障害患者における経口摂取ならびにその意欲と口腔内環境の関係. 平成 25 年度 8020 研究事業, 2013.
- 10) 小野和宏 (研究代表者), 井上 誠 (分担研究者), 谷口裕重 (分担研究者), 真柄 仁 (分担研究者)：舌骨喉頭位と嚥下機能との関連. 平成 25 年度文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C), 課題番号 24592793, 2013.
- 11) 堀 一浩 (研究代表者)：口腔・咽頭内残留の定量的評価と舌圧との関連. 平成 25 年文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C), 課題番号 24592908, 2013.
- 12) 堀 一浩 (研究代表者)：香料を用いた咽頭内残留の定量的評価法の開発. 財団法人日本食品化学研究振興財団平成 25 年度研究助成金, 2013.
- 13) 谷口裕重 (研究代表者)：摂食過程における生体機能と食塊物性の変化を追う. 平成 25 年度文部科学省科学研究費補助金 若手研究 (B), 課題番号 25862078, 2013.
- 14) 伊藤加代子 (研究代表者)：ドライシンドロームの有訴率および原因探索に関する研究. 平成 25 年度文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C), 課題番号 25463238, 2013.
- 15) 辻村恭憲 (研究代表者)：嚥下機能に対するアルツハイマー病治療薬メマンチンの影響. 平成 25 年度新潟大学プロジェクト推進経費 奨励研究, 2013.
- 16) 中村由紀 (研究代表者)：嚥下調節機能における摂食関連ペプチドの役割とその発達に関する研究. 平成 25 年度文部科学省科学研究費補助金若手研究 (B), 課題番号 23792424, 2013.
- 17) 中村由紀 (研究代表者)：小児の摂食・嚥下障害に対応した嚥下調整食の検討と実践へ. 平成 25 年度笹川科学研究助成, 実践研究, 研究番号 25-802, 2013.
- 18) 真柄 仁 (研究代表者)：機械的負荷が関節円板細胞に及ぼす影響—中間径フィラメントに着目して—. 平成 25 年度文部科学省科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 課題番号 248900070B, 2013.
- 19) 船山さおり (研究代表者)：自発性異常味覚の評価法としての主観的および客観的指標の臨床応用に関する研究. 平成 25 年度文部科学省科学研究費補助金 若手研究 (B), 課題番号 22792111, 2013.
- 20) 恵風園寄付金, 2013.
- 21) にいがた摂食・嚥下障害サポート研究会共同研究, 2013.

22) 四季園共同研究, 2013.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Inoue M: 老年人摂食呑咽の評価と回復. Workshop on Geriatric Nutrition and Sino-Japan Nursing Care Practices and Management for Elderly. Shanghai, China, Sep.24.2013.
- 2) Hori K: 嚥下障害神経解剖生理学の基礎、嚥下障害の臨床評価. 第三届中国呑咽障碍康复高峰论坛暨, Beijing, Nov.23-24.2013.
- 3) Inoue M: Effects of pharyngeal electrical stimulation on the swallowing behaviors in humans. S3-5-2 摂食行動の神経制御機構. Neuro2013, 京都, Jun. 20. 2013.
- 4) 伊藤加代子: 歯科医師の立場から, 統合医療から考えるウイメンズヘルスーそれぞれの役割と連携. 第28回日本女性医学学会学術集会, 東京, 2013年10月20日. 日女性医会誌 21(1): A18, 2013.
- 5) 中村由紀: 口腔咽頭領域への化学刺激がもたらす嚥下機能の変調効果. 第55回日本歯科基礎医学会学術大会サテライトシンポジウム, 岡山, 2013年9月20日.
- 6) 堀 一浩: 舌接触補助床を利用した嚥下機能回復. 日本顎顔面補綴学会第30回総会学術大会, 「舌接触補助床の真髄を探る」, 郡山, 2013年6月22日.

【学会発表】

- 1) Hori K, Takahashi K, Hayashi H, Taniguchi H, Fujiu-Kurachi M, Ono T, Inoue M: Immediate effects on tongue pressure of surface electrical stimulation. Dysphagia Research Society 22th Annual Meeting, Nashville, Mar.6-8.2014.
- 2) Taniguchi H, Magara J, Hayashi H, Tsujimura T, Hori K, Inoue M: Videofluoroscopic evaluation of Esophageal Clearance in Normal Adults. Dysphagia Research Society 22th Annual Meeting, Nashville, Mar.6-8.2014.
- 3) Yoda M, Mizuma M, Taniguchi H, Iida T, Hamada Y, Okazaki H, Palmer JB: Kinematic Analysis of the Oral Propulsive Phase in Swallowing with solid food. Dysphagia Research Society 22th Annual Meeting, Nashville, Mar.6-8.2014.
- 4) Fukuoka T, Nozaki S, Ono T, Hori K, Saito S, Kodama N, Domen K: Difference in tongue pressure during swallowing in variations of the chin-down posture. Dysphagia Research Society 22th Annual Meeting, Nashville, Mar.6-8.2014.
- 5) Fujiwara S, Ono T, Fujiu-Kurachi M, Minagi Y, Tokuda Y, Hori K, Maeda Y: The effect of bolus viscosity on

tongue pressure production during supraglottic and super-supraglottic swallows. Dysphagia Research Society 22th Annual Meeting, Nashville, Mar.6-8.2014.

- 6) Tsuji K, Tsujimura T, and Inoue M: The neural mechanism of swallowing desensitization following continuous superior laryngeal nerve stimulation in anesthetized rats. Society for Neuroscience, San-Diego, Nov.9-14.2013.
- 7) Sakai S, Tsuji K, Magara J, Tsujimura T, Inoue M: Relationship between the inhibition of the jaw-opening reflex and the autonomic responses during the superior laryngeal nerve stimulation and KCN infusion in rabbits. Society for Neuroscience, San-Diego, Nov.9-14.2013.
- 8) Ito K, Takamatsu K, Nohno K, Yamada A, Funayama S, Katsura K, Kaneko N, Hatakeyama A, Ogawa M, Inoue M: Factors associated with vaginal dryness; comparison with multiple regions. 5th Scientific Meeting of the Asia Pacific Menopause Federation, Tokyo, Oct.18-19.2013.
- 9) Nakamura Y, Hatakeyama A, Kanda C, Inoue M. Effect of acid inputs in the pharynx on human swallowing. 3rd Congress of the European Society for Swallowing Disorders, Malmö, Sep.12-14.2013.
- 10) Magara J, Hayashi h, Kanda C, Hori K, Taniguchi H, Ono K, Inoue M: Relationship between hyoid movement and swallowing function during voluntary swallowing in dysphagic patients. 3rd Congress of the European Society for Swallowing Disorders, Malmö, Sep.12-14.2013.
- 11) Ishihara S, Isono M, Nakao S, Nakaura M, Funami T, Hori K, Ono T, Kohyama K, Nishinari K: Compression test of food gels on artificial tongue and its comparison with sensory test. 17th Gums and Stabilizers for Food Industry Conference, Wrexham, Jun.25-28.2013.
- 12) Takamatsu K, Ito K, Ogawa M, Horiguchi F: Current status of vaginal symptoms in postmenopausal Japanese women: an analysis of internet questionnaire responses. 17th International Congress of the International Society of Psychosomatic Obstetrics and Gynecology, Berlin, May.22-24.2013.
- 13) Tsujimura T, Canning BJ: Evidence for swallowing reflexes evoked by acid and mechanical stimulation of the vagal afferent nerves innervating the larynx in anesthetized guinea pigs. Experimental Biology 2013, Boston, Apr.20-24.2013.
- 14) 谷口裕重, 堀 一浩, 真柄 仁, 村山稔子, 小師優子, 小山 諭, 井上 誠: 当院 NST が介入した摂食・嚥下障害患者の動向. 第29回日本静脈経腸栄養学

- 会学術集会, 神奈川, 2014年2月27-28日.
- 15) 堀 一浩, 高橋圭三, 林 宏和, 谷口裕重, 井上 誠: 舌骨下筋群への経皮的電気刺激が嚥下時舌圧に及ぼす即時効果. 第37回日本嚥下医学会, 東京, 2014年2月14-15日.
  - 16) 畠山 文, 中村由紀, 神田知佳, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: グロトグラフを利用した嚥下運動評価. 第37回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 東京, 2014年2月14-15日.
  - 17) 辻 光順, 辻村恭憲, 酒井翔悟, 真柄 仁, 井上 誠: 麻酔下ラットにおける上喉頭神経連続電気刺激時の嚥下反射誘発の減衰. 新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2013年11月9日, 新潟歯学会誌, 43(2):72, 2013.
  - 18) 岩森 大, 山崎貴子, 伊藤直子, 宮岡里美, 井上 誠, 宮岡洋三: 攪拌と時間経過がとろみ調整に及ぼす影響. 日本官能評価学会 2013年度大会, 東京, 2013年11月9日.
  - 19) 谷口裕重, 真柄 仁, 林 宏和, 辻 光順, 酒井翔悟, 堀 一浩, 井上 誠: 摂食に関連した咽頭と食道機能の加齢変化とその関係. 第51回顎口腔機能学会, 新潟, 2013年10月5-6日.
  - 20) 皆木祥伴, 小野高裕, 李 强, 藤原茂弘, 堀 一浩, 井上 誠, 前田芳信, 横江 勝, 望月秀樹: 舌圧・喉頭運動計測システムによるパーキンソン病患者の嚥下動態評価. 日本顎口腔機能学会第51回学術大会, 新潟, 2013年10月5-6日.
  - 21) 谷口裕重, 堀 一浩, 真柄 仁, 村山稔子, 小師優子, 小山 諭, 井上 誠: 当院NSTにおける摂食・嚥下障害患者の動向について. 第19回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 倉敷, 2013年9月22-23日.
  - 22) 高橋圭三, 堀 一浩, 林 宏和, 谷口裕重, 井上 誠: 舌骨下筋群への経皮的電気刺激が嚥下時舌圧に及ぼす影響. 第19回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 倉敷, 2013年9月22-23日.
  - 23) 手島謡子, 中村由紀, 堀 一浩, 谷口裕重, 辻村恭憲, 真柄 仁, 林 宏和, 塚野英樹, 船山さおり, 神田知佳, 今井晴菜, 井上 誠: 当院における摂食・嚥下障害患者の動向調査. 第19回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 倉敷, 2012年9月22-23日.
  - 24) 今井晴菜, 伊藤加代子, 山野井澄江, 畠山 文, 神田知佳, 井口寛子, 別府 茂, 秋元幸平, 田辺英児, 中村由紀, 井上 誠: 病院内に設置した「食の支援ステーション」来訪者に関する検討. 第19回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 倉敷, 2013年9月22-23日.
  - 25) 井口寛子, 林 宏和, 谷口裕重, 伊藤加代子, 会田生也, 別府 茂, 井上 誠: 米飯ならびに餅食品摂取の生理学を生体記録と物性変化から追及する. 第19回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 倉敷, 2013年9月22-23日.
  - 26) 神田知佳, 椎野良隆, 林 宏和, 塚野英樹, 中村由紀, 谷口裕重, 堀 一浩, 井口寛子, 別府 茂, 井上 誠: 香味刺激ゼリーが摂食・嚥下リハビリテーションに与える効果. 第19回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 倉敷, 2013年9月22-23日.
  - 27) 椎野良隆, 谷口裕重, 林 宏和, 酒井翔悟, 真柄 仁, 井上 誠, 鈴木絵里: 高齢者にも使いやすい紙パックの開発とその検証. 第19回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 倉敷, 2013年9月22-23日.
  - 28) 岩森 大, 山崎貴子, 伊藤直子, 宮岡里美, 井上 誠, 宮岡洋三: とろみ調整時における攪拌指示の効果について - 調整者への伝達に関する客観的評価 -. 第19回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 倉敷, 2013年9月22-23日.
  - 29) 福岡達之, 野崎園子, 小野高裕, 堀 一浩, 川阪尚子, 荻野直子, 新宮正美, 児玉典彦, 道免和久: Chin-down 肢位のバリエーションが嚥下時の舌口蓋摂食に及ぼす影響. 第19回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 倉敷, 2013年9月22-23日.
  - 30) 矢野実郎, 青柳陽一郎, 熊倉勇美, 椿原彰夫, 皆木省吾, 堀 一浩, 藤原茂弘, 小野高裕: 舌圧と咽頭内圧の同時測定-食塊量・粘度の影響-. 第19回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 倉敷, 2013年9月22-23日.
  - 31) 酒井翔悟, 辻 光順, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 麻酔下ウサギにおける自律神経活動変化が及ぼす開口反射への影響. 第55回歯科基礎医学会学術大会・総会, 岡山, 2013年9月20-22日.
  - 32) 辻 光順, 辻村恭憲, 井上 誠: 上喉頭神経連続電気刺激は嚥下反射をどのように脱感作させるのか? 第55回歯科基礎医学会学術大会, 岡山, 2013年9月20-22日, J Oral Biosci 55(Suppl.):180, 2013.
  - 33) 泉野裕美, 澤田美佐緒, 福田昌代, 畑山千賀子, 野村慶雄, 重信直人, 堀 一浩, 伊藤加代子, 井上 誠: 地域在住自立高齢者における口腔機能と体力との関連性. 平成25年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2013年7月6日.
  - 34) 齋藤正直, 谷口裕重, 星名秀行, 永田昌毅, 井上 誠, 高木律男: 遊離前腕皮弁を使用した舌癌患者における摂食・嚥下機能の検討. 日本形成外科学会関東支部第92回新潟地方会, 新潟, 2013年7月5日.
  - 35) 神田知佳, 林 宏和, 真柄 仁, 堀 一浩, 井上 誠: 摂食・嚥下機能のスクリーニング検査時の評価

- 一嚥下内視鏡検査 (VE) 結果との比較—第 14 回日本言語聴覚学会, 札幌, 2013 年 6 月 28-29 日.
- 36) 福岡達之, 野崎園子, 小野高裕, 田峰謙一, 堀一浩, 川阪尚子, 荻野直子, 新宮正美, 道免和久: 頭頸部肢位の違いが嚥下時の舌口蓋接触に及ぼす影響. 第 14 回日本言語聴覚学会, 札幌, 2013 年 6 月 28-29 日.
- 37) 中澤亜香里, 柴田佐都子, Roxana Stegaroiu, 伊藤加代子, 大内章嗣: 介護保険施設従事の介護職員・看護師における口腔ケア関連の歯科専門用語の理解度調査. 第 8 回日本歯科衛生学会, 神戸, 2013 年 9 月 14-16 日, 日歯衛会誌 8(1): 93, 2013.
- 38) 岸本奈月, Roxana Stegaroiu, 柴田佐都子, 上松弘幸, 伊藤加代子, 塚野英樹, 林宏和, 住谷美幸, 真柄仁, 辻村恭憲, 中村由紀, 谷口裕重, 堀一浩, 井上誠, 大内章嗣: 経管栄養離脱による口腔内の水分量および微生物量の変化. 第 8 回日本歯科衛生学会, 神戸, 2013 年 9 月 14-16 日, 日歯衛会誌 8(1): 114, 2013.
- 39) 伊藤加代子, 船山さおり, 勝良剛詞, 金子昇, 濃野要, 山田亜紀, 井上誠: 口腔乾燥症診断シート導入の試み. 第 23 回日本口腔内科学会第 26 回日本口腔診断学会合同学術大会, 東京, 2013 年 9 月 13-14 日.
- 40) 福島洋介, 北村智久, 坂井丘芳, 辻聡, 戸谷収二, 伊藤加代子, 船山さおり, 荒木隆一郎, 古株彰一郎, 野島淳也, 佐藤毅, 坂田康彰, 依田哲也: 口腔乾燥症診断における改良型口腔水分計ムーカスを用いた生理的口腔湿度に関する検討. 第 23 回日本口腔内科学会第 26 回日本口腔診断学会合同学術大会, 東京, 2013 年 9 月 13-14 日.
- 41) 勝良剛詞, 伊藤加代子, 濃野要, 船山さおり, 金子昇, 山田亜紀, 林孝文: ドライマウス診断における pulse Doppler ultrasonography の可能性. 第 23 回日本口腔内科学会第 26 回日本口腔診断学会合同学術大会, 東京, 2013 年 9 月 13-14 日.
- 42) 泉野裕美, 澤田美佐緒, 福田昌代, 畑山千賀子, 野村慶雄, 重信直人, 堀一浩, 伊藤加代子, 井上誠: 地域在住自立高齢者における口腔機能と体力との関連性. 平成 25 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2013 年 7 月 6 日, 新潟歯会誌 43(2): 147, 2013.
- 43) 中山富子, 井上誠: 介護老人施設における摂食・嚥下障害がある入所者の状況と施設の対応. 平成 25 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2013 年 7 月 6 日, 新潟歯会誌 43(2): 147, 2013.
- 44) 真柄仁, 堀一浩, 林宏和, 井上誠: 舌接触補助床の装着による嚥下機能改善効果の検討. 第 30 回日本顎顔面補綴学会 総会・学術大会, 郡山, 2013 年 6 月 21-22 日.
- 45) 伊藤加代子, 濃野要, 船山さおり, 金子昇, 山田亜紀, 畠山文, 佐々木綾子, 井上誠: 男性におけるドライシンドローム有訴率に関する検討. 日本老年歯科医学会第 24 回学術大会, 大阪, 2013 年 6 月 5-7 日, 老年歯医 28(2): 225, 2013.

#### 【研究会発表】

- 1) Tsujimura T, Tsuji K, Sakai S, Inoue M: Involvement of NMDA and non-NMDA glutamate receptors on the initiation of swallows in anesthetized guinea pigs. International Symposium on Health Through Oral Health Collaborative Education, Research and Practices, Krabi, Dec.20-22.2013.
- 2) Sakai S, Tsuji K, Magara J, Tsujimura T, Inoue M: Effects of swallowing or autonomic activation on jaw-opening reflex responses in anesthetized rabbits. International Symposium on Health Through Oral Health Collaborative Education, Research and Practices, Kurabi, Dec.20-22.2013.
- 3) Inoue M: Dysphagia Rehabilitation in Niigata University. Clinical seminar, National Yang-Ming University, Taiwan, Dec.18.2013.
- 4) 井上誠: 新潟の摂食・嚥下障害の 10 年を振り返る. 第 3 回にいがた摂食・嚥下障害サポート研究会講演会, 新潟, 2013 年 12 月 8 日.
- 5) 辻村恭憲: 嚥下研究の現状とこれから. 第 3 回にいがた摂食・嚥下障害サポート研究会講演会, 新潟, 2013 年 12 月 8 日.
- 6) 辻村恭憲, Canning BJ, 井上誠: 嚥下誘発における孤東核グルタミン酸受容体の関与, 第 7 回三叉神経領域の感覚—運動統合機構研究会, 新潟, 2013 年 11 月 30 日-12 月 1 日.
- 7) 辻光順, 辻村恭憲, 酒井翔悟, 真柄仁, 井上誠: 上喉頭神経連続電気刺激は麻酔下ラットにおいて誘発される嚥下反射を減衰させる. 第 7 回三叉神経領域の感覚—運動統合機構研究会, 新潟, 2013 年 11 月 30 日-12 月 1 日.
- 8) 井上誠: 摂食・嚥下障害者の QOL 改善及び食品開発への期待. “未来へのバイオ技術” 勉強会, 東京, 2013 年 9 月 3 日.
- 9) 井上誠: ST が知っておきたい摂食・嚥下に関する歯科の基礎知識. 新潟県言語聴覚士会第 3 回研修会, 新潟, 2013 年 10 月 27 日.
- 10) 辻村恭憲, Canning BJ, 井上誠: 嚥下誘発に対する孤東核グルタミン酸受容体の関与, 第 15 回日本咳嗽研究会, 金沢, 2013 年 10 月 26 日.
- 11) 本間正寿, 林豊彦, 道見登, 谷口裕重, 井上誠:

嚥下機能評価システム SFN/3A における喉頭位置トラッキング法の改良. 電気情報通信学会 ME とバイオサイバネティクス研究会 (MBE), 北海道, 2013年6月21日.

#### 【受賞】

なし.

#### 【その他】

- 1) Inoue M: Dysphagia rehabilitation in Niigata University. プリンストンソククラ大学, Thailand, May.21.2013.
- 2) 井上 誠:新潟大学医歯学総合病院における摂食・嚥下リハビリテーション, 歯科口腔外科合同セミナー, 信州大学, 松本, 2014年3月18日.
- 3) 伊藤加代子:口腔ケアの指導方法について. 平成25年度新介護技術講習会, 新潟県建設会館, 新潟市, 2014年3月18日.
- 4) 新潟日報, 講演会レポート. 2014年3月7日.
- 5) 井上 誠:はなむけの言葉 - 不肖の弟子より. 山田好秋教授の御定年退職によせて, 歯学部ニュース.
- 6) 井上 誠:新潟大学医歯学総合病院における摂食・嚥下リハビリテーションと地域連携への期待. 江南区・秋葉区合同摂食嚥下の地域連携講演会, 新潟, 2014年2月22日.
- 7) 井上 誠:いつまでも元気でおいしく楽しく食べるために〜嚥下(えんげ)とその障害〜. 第6回市民公開講座「新潟「食と健康」フォーラム, 新潟, 2014年2月8日.
- 8) 井上 誠:末梢性入力と中枢性入力による嚥下運動へもたらす作用東京医科歯科大学大学院セミナー, 2014年1月27日.
- 9) 伊藤加代子:高齢者の口腔機能向上と栄養改善を総合的に学ぶ. 平成25年介護予防従事者研修会, アオーレ長岡, 長岡, 2013年12月17日.
- 10) 伊藤加代子:一歩進んだ口腔ケアのために. 口腔ケア研修会, さつき園, 村上, 2013年11月19日.
- 11) 井上 誠:摂食・嚥下の最新情報. 平成25年度山形県歯科医学会, 山形, 2013年11月17日.
- 12) 中村由紀:摂食機能向上にむけての食事支援. 新潟県知的障害福祉協会保健給食部会研修, 新潟, 2013年11月15日.
- 13) 井上 誠:新潟大学における摂食・嚥下リハビリテーションと未来展望. 新潟市民病院勉強会, 新潟, 2013年11月5日.
- 14) 井上 誠:摂食・嚥下リハビリテーションについて. 平成25年度総合リハビリテーションセンターセミナー, 新潟, 2013年11月1日.
- 15) 谷口裕重:「食」を提供することを考える〜介護食を中心に〜. ボランティア亀田主催給食勉強会, 新潟, 2013年10月27日.
- 16) 伊藤加代子:ドライマウスのセルフケア. 更年期と加齢のヘルスケア学会ラウンドテーブルディスカッション, 帝京平成大学池袋キャンパス, 東京, 2013年10月27日.
- 17) 辻村恭憲:摂食・嚥下障害の評価と対応, 新潟県歯科医師会館, 新潟, 2013年10月27日.
- 18) 井上 誠:歯科医としての摂食・嚥下リハビリテーションへの理解と関わり. 新潟大学歯学部同窓会近畿支部講演会, 大阪, 2013年10月13日.
- 19) 谷口裕重:摂食・嚥下リハビリテーションと多職種連携, 第1回甲信越在宅医療推進フォーラム, 長野県佐久市, 2013年10月13日.
- 20) 伊藤加代子:要介護者の特性に応じた口腔ケア支援. 平成25年度魚沼圏域口腔ケア研修会, 小出ボランティアセンター, 魚沼市, 2013年10月10日.
- 21) 中村由紀:咽頭への酸味刺激がもたらす嚥下反射誘発効果に関する研究. 第3回食と生命のサイエンス・フォーラム(ネスレ栄養科学会議研究助成成果報告), 東京, 2013年10月2日.
- 22) 伊藤加代子:要介護者の口腔ケアの基本. 平成25年度下越地区口腔ケア研修会, 神林農村環境改善センター, 村上市, 2013年10月1日.
- 23) 伊藤加代子:歯科衛生士に必要な介護技術. 障がい歯科衛生士研修会, 新潟県歯科医師会館, 新潟市, 2013年9月8日.
- 24) 井上 誠:「ばりあふり〜お食事会」レポート. 新潟日報, 2013年9月5日.
- 25) 井上 誠:医療連携による食支援. 平成25年度歯の健康力推進歯科医師等養成歯科関係者講習会, 東京, 2013年9月1日.
- 26) 井上 誠:もっと『食べる』を知り支援技術について考えましょう. 東新潟特別支援学校夏季職員研修, 新潟, 2013年8月27日.
- 27) 井上 誠:「食べる」を支援するために必要な知識と技術. 駒林特別支援学校夏季職員研修, 新潟, 2013年7月31日.
- 28) 井上 誠:摂食・嚥下リハビリテーションの基礎. 在宅医療を支える歯科医師人材育成事業在宅歯科診療研修会, 新潟, 2013年7月27日.
- 29) 井上 誠:新潟大学歯学部の取り組み. 世界的な超高齢社会へ向けて歯科医療のあり方. 日本歯科医学会雑誌66(4):362-3, 2013年07月10日.
- 30) 谷口裕重:摂食・嚥下リハビリテーションの実際. 新潟県歯科医師会障害者診療医育成事業, 新潟, 2013年7月7日.
- 31) 井上 誠:食べるを知ることと楽しむこと.

FOOMA2013 アカデミックプラザ. 東京, 2013 年 6 月 11-14 日.

- 32) 谷口裕重: 摂食機能療法の実践. 新潟大学歯学部公開講座, 新潟, 2013 年 6 月 26 日.
- 33) 伊藤加代子: 口腔ケアの必要性とその方法. 上村病院主催口腔ケア勉強会, 新潟県十日町市, 2013 年 6 月 19 日.
- 34) 谷口裕重: 口腔ケアの必要性とその方法. 上村病院主催口腔ケア勉強会, 新潟県十日町市, 2013 年 6 月 5 日.
- 35) 井上 誠: 嚥下機能とその障害〜生理学から分かること・分からないこと〜. 平成 25 年度新潟大学歯学部同窓会学術講演会, 新潟, 2013 年 4 月 20 日.

### 硬組織形態学分野

#### 【著書】

- 1) 大島勇人, 浜島幸司, 清野雄多: 学生支援に求められる条件—学生支援 GP の実践と新しい学びのかたち. 252 頁, 東信堂, 2013. 10. 10.

#### 【論文】

- 1) Ohshima H: Oral Biosciences: The annual review 2013. *J Oral Biosci* 56(1): 1-10, 2014.
- 2) Katsumi Y, Tanaka R, Hayashi T, Koga T, Takagi R, Ohshima H: Variation in arterial supply to the floor of the mouth and assessment of relative hemorrhage risk in implant surgery. *Clin Oral Implants Res* 24(4): 434-440, 2013.
- 3) Yamashita-Mikami E, Tanaka M, Sakurai N, Arai Y, Matsuo A, Ohshima H, Nomura S, Ejiri S: Correlations between alveolar bone microstructure and bone turnover markers in pre- and post-menopausal women. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol* 115(4): e12-19, 2013.
- 4) Shigetani Y, Suzuki H, Ohshima H, Yoshida K, Yoshida N, Okiji T: Odontoblast response to cavity preparation with Er:YAG laser in rat molars: an immunohistochemical study. *Odontology* 101(2): 186-192, 2013.
- 5) Nakatomi M, Ida-Yonemochi H, Ohshima H: Lymphoid enhancer-binding factor 1 expression precedes dentin sialophosphoprotein expression during rat odontoblast differentiation and regeneration. *J Endod* 39(5): 621-628, 2013.
- 6) Quispe-Salcedo A, Ida-Yonemochi H, Ohshima H: Use of a triple antibiotic solution affects the healing process of intentionally delayed replanted teeth in mice. *J Oral Biosci* 55(2): 91-100, 2013.
- 7) Yamashita-Mikami E, Tanaka M, Sakurai N, Yamada K,

Ohshima H, Nomura S, Ejiri S: Microstructural observation with microCT and histological analysis of human alveolar bone biopsy from a planned implant site: A case trial. *Open Dent J*. 7:47-54, 2013.

- 8) Ida-Yonemochi H, Harada H, Ohshima H, Saku T: Reciprocal expressions between  $\alpha$ -dystroglycan and integrin  $\beta$ 1, perlecan receptors, in the murine enamel organ development. *Gene Expr Patterns* 13(8): 293-302, 2013.
- 9) Katsuragi Y, Anraku J, Nakatomi M, Ida-Yonemochi H, Mishima Y, Sakuraba Y, Gondo Y, Takagi R, Ohshima H, Kominami R: Bcl11b transcription factor plays a role in the maintenance of the ameloblast-progenitors in mouse adult maxillary incisors. *Mech Dev* 130(9-10): 482-492, 2013.
- 10) Wakamatsu R, Takenaka S, Ohsumi T, Terao Y, Ohshima H, Okiji T: Penetration kinetics of four mouthrinses into *Streptococcus mutans* biofilms analyzed by direct time-lapse visualization. *Clin Oral Investig* 18(2): 625-34, 2013.
- 11) Saito K, Nakatomi M, Ohshima H: Dynamics of BrdU label-retaining dental pulp cells during pulpal healing following cavity preparation in mice. *J Endod* 39(10): 1250-1255, 2013.
- 12) Saito K, Kenmotsu S, Nakatomi M, Ohshima H: Allogenic tooth transplantation inhibits the maintenance of dental pulp stem/progenitor cells in mice. *Cell Tissue Res* 2014 Mar 27 [Epub ahead of print].
- 13) Ida-Yonemochi H, Nakatomi M, Ohshima H: Establishment of in vitro culture system for evaluating dentin-pulp complex regeneration with special reference to the differentiation capacity of BrdU label-retaining dental pulp cells. *Histochem Cell Biol* 2014 Feb 23 [Epub ahead of print].
- 14) Maruyama S, Itagaki M, Ida-Yonemochi H, Kubota T, Yamazaki M, Abe T, Yoshie H, Cheng J, Saku T: Perlecan-enriched intercellular space of junctional epithelium provides primary infrastructure for leucocyte migration through squamous epithelial cells. *Histochem Cell Biol* 2014 Feb 23 [Epub ahead of print].
- 15) Morita W, Yano W, Nagaoka T, Abe M, Ohshima H, Nakatsukasa M: Patterns of morphological variation in enamel-dentin junction and outer-enamel surface of human molars. *J Anat* 2014 Apr 1 [Epub ahead of print].
- 16) 竹中彰治, 大墨竜也, 若松里佳, 寺尾豊, 大島勇人, 興地隆史: アルコールフリー洗口液 Listerine®Zero™ の *Streptococcus mutans* バイオフィームに対する浸透・殺菌効果. *日歯保存誌* 56(2):